



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日
東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3184 URL https://www.icda.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,111	△5.1	1,065	20.8	1,064	18.4	698	9.3
2020年3月期第3四半期	20,131	△1.2	882	△1.9	899	0.3	638	9.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 726百万円(9.5%) 2020年3月期第3四半期 663百万円(18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	332.57	—
2020年3月期第3四半期	304.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,484	6,621	44.3
2020年3月期	14,663	6,006	39.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,421百万円 2020年3月期 5,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	△5.4	1,283	14.8	1,280	12.7	857	26.3	408.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	2,100,000株	2020年3月期	2,100,000株
2021年3月期3Q	207株	2020年3月期	133株
2021年3月期3Q	2,099,855株	2020年3月期3Q	2,099,936株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要事業である自動車販売関連事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって第1四半期連結会計期間に、政府より緊急事態宣言が発出された事を受け、イベント等の広告宣伝活動を自粛した事により、来店者数が大幅に減少し新規来場に係る受注は減少いたしました。しかし、既存顧客に対するフォロー活動を継続的に行うことで、既存顧客からの受注は増加いたしました。また、広告宣伝活動等の自粛の影響により、販売費及び一般管理費が減少いたしました。

第2四半期連結会計期間以降は、政府の緊急事態宣言解除後、当社グループの主力エリアである三重県下における、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向を受けて、感染拡大防止策を取りながら、社会経済活動のレベルが引き上げられたことにより、緩やかな回復基調となっております。しかし、第3四半期連結会計期間後半において、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加に転じたことにより、業績に対する影響が懸念されましたが、感染拡大防止策を強化し、従前から行っている営業活動等を継続強化することで、落ち込みはありませんでした。

これらの結果、売上高は191億11百万円と前年同期と比べ10億19百万円(5.1%)の減収、営業利益は10億65百万円と前年同期と比べ1億83百万円(20.8%)の増益、経常利益は10億64百万円と前年同期と比べ1億65百万円(18.4%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億98百万円と前年同期と比べ59百万円(9.3%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は191億11百万円と前年同期と比べ10億19百万円(5.1%)の減収、営業利益は10億65百万円と前年同期と比べ1億83百万円(20.8%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、上記に記載のとおり、新規顧客からの受注が減少いたしました。既存顧客からの受注は堅調に推移いたしました。国産新車販売台数は前年同期比7.2%減少の3,527台となりました。また、輸入車においても国産新車販売と同様の状況となり、輸入新車販売台数は前年同期比11.4%減少の366台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比7.6%減少の3,893台となりました。

中古車販売についても、新車販売と同様の状況ではありますが、既存顧客からの受注が増加した事と、輸入車販売店における輸入中古車販売が増加いたしました。また、中古車卸売(業販)については、オークション市場低迷の影響を受けたためオークション出品を取り止めて、顧客に対する販売(直販)にシフトする体制といたしました。これらの結果、中古車販売台数は前年同期比4.6%減少の6,999台となりましたが、中古車販売に係る売上総利益については、直販にシフトした事により利益率の大幅改善が図られました。

これらの結果、売上高は184億63百万円と前年同期と比べ10億44百万円(5.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は11億11百万円と前年同期と比べ1億46百万円(15.1%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、第2四半期連結結果計期間までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、輸出関連売上及び、鉄・銅・アルミ等の資源相場低迷を受けて資源関連売上が影響を受けておりましたが、国内向けのリユースパーツ販売を強化することで安定した売上を確保しております。

さらに、第3四半期連結会計期間においては、鉄及び希少金属類の資源相場が大幅に上昇したため資源関連売上が増加いたしました。売上高の増加に伴い、生産台数(再資源化处理)は前年同期比7.1%増加の7,980台となり、使用済自動車の入庫は前年同期比5.3%増加の7,887台となりました。

これらの結果、売上高は6億48百万円と前年同期と比べ25百万円(4.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億16百万円と前年同期と比べ25百万円(28.6%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益は、営業外収益が減少し、借入金残高減少により支払利息も減少し、営業外費用も減少いたしました。しかし営業利益が増加したことにより、経常利益は10億64百万円と前年同期と比べ1億65百万円(18.4%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は10億64百万円と前年同期と比べて88百万円(9.1%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は3億45百万円となりました。これらの結果、当第3四半期連結結果計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は6億98百万円と前年同期と比べ59百万円(9.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億79百万円減少し、144億84百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少2億48百万円、建物及び構築物の減少1億36百万円、商品及び製品の増加2億25百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より7億94百万円減少し、78億62百万円となりました。これは主に、借入金の減少4億81百万円、買掛金の減少2億8百万円、未払法人税等の減少1億61百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より6億15百万円増加し、66億21百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上6億98百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2020年11月13日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	942,408	694,328
受取手形及び売掛金	432,738	397,898
商品及び製品	2,263,310	2,488,882
仕掛品	3,599	3,401
原材料及び貯蔵品	46,556	53,997
その他	208,583	257,489
貸倒引当金	△266	△292
流動資産合計	3,896,929	3,895,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,875,093	2,739,022
土地	5,599,679	5,612,922
その他（純額）	1,200,249	1,194,585
有形固定資産合計	9,675,022	9,546,530
無形固定資産	59,668	53,380
投資その他の資産	1,031,940	988,428
固定資産合計	10,766,632	10,588,338
資産合計	14,663,562	14,484,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,691,897	1,483,074
短期借入金	3,113,258	2,820,952
未払法人税等	269,023	107,214
前受金	1,163,837	1,196,309
賞与引当金	160,649	79,190
その他	469,841	544,412
流動負債合計	6,868,508	6,231,152
固定負債		
長期借入金	683,665	494,895
役員退職慰労引当金	303,415	307,996
退職給付に係る負債	739,270	762,025
その他	62,635	66,506
固定負債合計	1,788,986	1,631,423
負債合計	8,657,495	7,862,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	3,549,631	4,142,988
自己株式	△236	△378
株主資本合計	5,859,465	6,452,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31,527	△25,755
退職給付に係る調整累計額	△6,771	△5,861
その他の包括利益累計額合計	△38,299	△31,616
非支配株主持分	184,900	200,403
純資産合計	6,006,066	6,621,468
負債純資産合計	14,663,562	14,484,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	20,131,200	19,111,945
売上原価	16,215,382	15,125,453
売上総利益	3,915,818	3,986,491
販売費及び一般管理費	3,033,599	2,920,711
営業利益	882,219	1,065,779
営業外収益		
受取配当金	7,298	6,933
受取賃貸料	9,205	8,550
受取保険金	22,319	7,067
受取負担金	2,896	2,657
その他	8,160	5,531
営業外収益合計	49,878	30,739
営業外費用		
支払利息	22,476	17,786
支払手数料	6,872	10,090
その他	3,720	4,000
営業外費用合計	33,070	31,876
経常利益	899,027	1,064,643
特別利益		
固定資産売却益	77,217	—
受取保険金	38,677	—
特別利益合計	115,895	—
特別損失		
和解金	38,677	—
特別損失合計	38,677	—
税金等調整前四半期純利益	976,245	1,064,643
法人税、住民税及び事業税	289,528	295,349
法人税等調整額	32,789	49,975
法人税等合計	322,318	345,325
四半期純利益	653,926	719,317
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,180	20,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	638,746	698,350

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	653,926	719,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,210	5,772
退職給付に係る調整額	1,003	1,136
その他の包括利益合計	9,214	6,909
四半期包括利益	663,140	726,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,811	705,033
非支配株主に係る四半期包括利益	15,329	21,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,507,985	623,215	20,131,200	—	20,131,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,086	20,099	31,185	△31,185	—
計	19,519,071	643,315	20,162,386	△31,185	20,131,200
セグメント利益	965,685	90,493	1,056,178	△173,959	882,219

(注) 1. セグメント利益の調整額△173,959千円には、セグメント間取引消去△92千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△173,867千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,463,432	648,512	19,111,945	—	19,111,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,006	17,241	27,248	△27,248	—
計	18,473,439	665,754	19,139,193	△27,248	19,111,945
セグメント利益	1,111,748	116,366	1,228,115	△162,335	1,065,779

(注) 1. セグメント利益の調整額△162,335千円には、セグメント間取引消去875千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,210千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。